

協和中央病院では

最新式・高磁場MRI装置(磁場強度3テスラ)

H28年2月から稼動

県西地区では第1号機となる「フィリップス社製 Ingenia3.0T CX-MRI」が稼動しました。

この装置の運用により、詳細で正確な診断が可能となります。

【主な特徴】

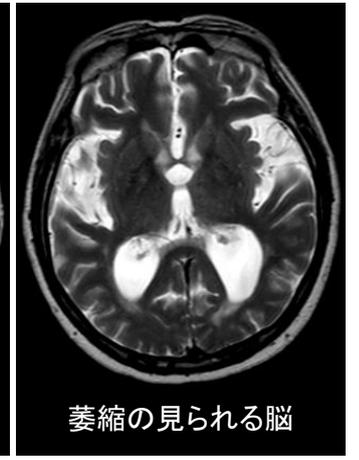
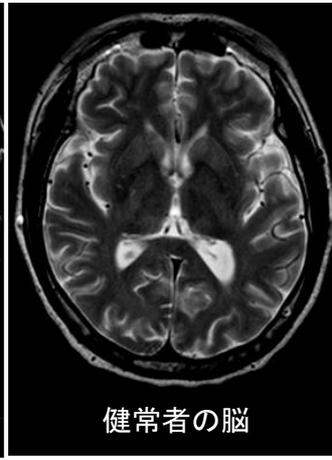
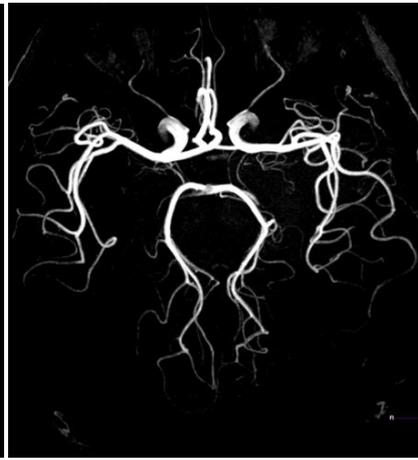
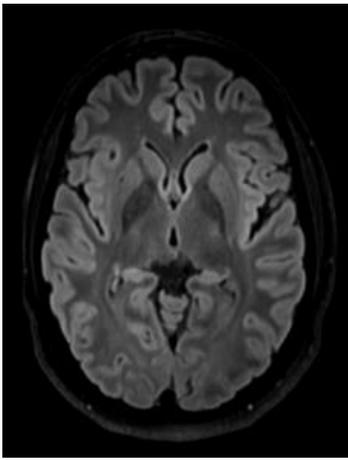
世界初のフルデジタル装置のため、従来のMRI(アナログ装置)と比べてより詳細で鮮明、かつノイズの少ない画像が得られます。

さらに磁場強度も2倍となり、全身の高画質な画像が短時間で撮像できるようになります。

現在の1.5テスラMRI装置と併用することで検査の待ち時間も短縮され、患者様へのさらなるサービスが期待されます。



【Ingenia3.0TCX-MRI】



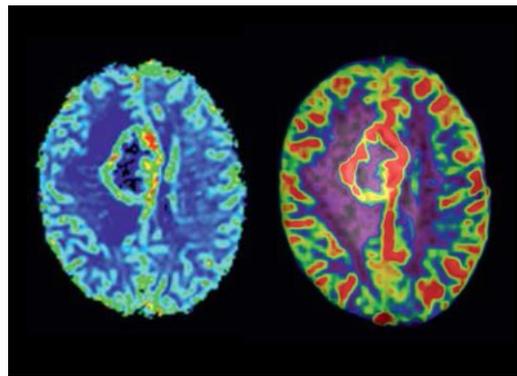
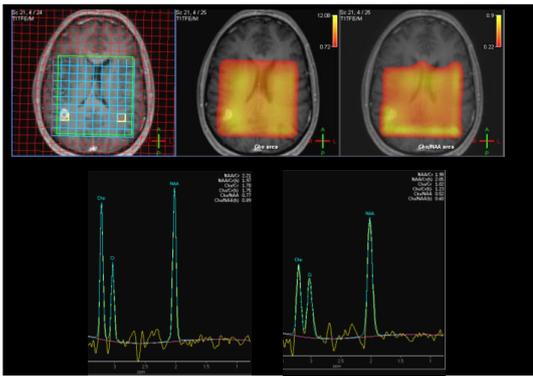
健常者の脳

萎縮の見られる脳

高精細な脳の画像。任意の断面で撮像可能です。

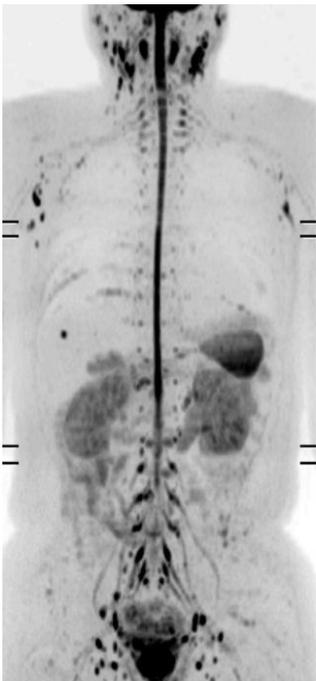
造影剤を用いることなく、高精細な血管画像が撮像可能です。

年齢に対する脳の萎縮の評価が可能です。



体内で代謝される様々な物質の測定により、腫瘍の鑑別等が可能です。

脳血流の評価が可能です。



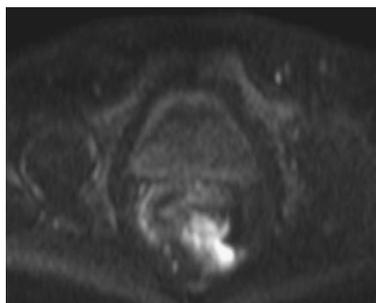
動脈硬化や血栓の描出が可能です。



高精細な膝関節画像。



腹部病変の描出が可能です。



腫瘍の広がりなどの評価が可能です。



全脊椎の撮像が可能です。

※これらの画像は一例です